

クトゥブ・ミナール

クトゥブ・ミナール (Qutub Minar, ヒンディー: कुतुब मीनार) は、インドのデリーにある世界最高のミナレット。

1200 年ごろに奴隷王朝の建国者であるクトゥブッディーン・アイバクによって、クワットウル・イスラーム・モスクに付属して建てられた。ヒンドゥー様式とイスラーム様式が混在した様式となっている。おそらくヒンドゥー教・ジャイナ教の寺院などを破壊し、その石材を転用して制作されたものであり、建築に携わった職人もヒンドゥー教徒であったと推測されている

構造

高さが 72.5m あり、世界で最も高いミナレットである。これでも地震や落雷などで先端が崩れた後に修復しており、当初は 100m ほどの高さがあったという。直径は、基底部 14.3m に対して先端部 2.75m であり、文字どおりの尖塔である。

内部には 378 段の階段があり、以前は先端部まで上ることができた。1982 年に照明が消えてパニックになった修学旅行中の少女たちが階段で折り重なって倒れ、十数名が死傷する惨事となった。この事故以来、内部への立入りは禁止された。

世界遺産の遺跡群

クトゥブ・ミナールから北に 150m ほど離れた場所に、未完のミナレットであるアライ・ミナールがある。財政難で工事が中断し、現在は直径 25m の巨大な基底部を見ることができる。完成していればクトゥブ・ミナールを超え、100m を大きく超える塔になっていたとされる。

一帯の遺跡群は、1993 年に世界遺産に登録（登録名：デリーのクトゥブ・ミナールとその建造物群）されており、アライ・ミナールの他にモスクやデリーの鉄柱などもある。

Wikipedia による



クトゥブ・ミナール(世界最高のミナレット)



デリーの鉄柱(錆びない鉄柱)